岩屋中だより

令和６年2月２１日　NO24
発行　長崎市立岩屋中学校
文責：校長　川口　猛

『情けは人ためならず。』
『優しさや思いやりは、渡すものではなく、つないでいくもの。つながっていくもの』

２月も下旬になりました。３学期当初に話した『０学期』についてどれほど達成できているでしょうか。

１年生は、４月に入学する新入生が目標とする先輩にふさわしい姿に成長していると自己評価できるならば、着々と準備が進んでいる証拠ですね。その決意が本物であれば、２年生のための『０学期』の意味を果たしていると思います。

２年生の皆さん、３年生の動きを見ながら、その動きを『自分事（じぶんごと）』として把握し、いよいよ自分たちだという決意は固まってきたでしょうか？その決意が固まって、何か一つ一歩踏み始めたならば、それは、３年生の『０学期』でしょう。また、この学校の核となる決意は固まってきたでしょうか？3月14日の卒業証書授与式で、皆さんの決意が行動となって３年生の背中を押すものと信じています。

さて、３年生の皆さんは、この便りを読む時点で、第１志望の上級学校の合格を手にして希望する進路を実現した人、あるいは、公立入試後期試験に向かって必死に努力を重ねている人がいること思います。受験は『団体戦』と言います。人生をかけた決戦に挑もうとする仲間を最後までしっかり支えてほしいと願います。苦しいときこそ、助け合い、支えあいながら目標実現に向けて頑張ってほしいと思います。『難』があるときこそ、成長できるチャンスです。辛い気持ちに何か一つプラスして『幸』につなげてください。３年生全員の自己実現を願っています。

さて、すべての学年の皆さんに、今の努力の根底にあるべきことについて触れておきたいと思います。前回、能登半島地震を題材に、『日々の生活のありがたさ』ついて触れましたが、そのことにつながるかもしれません。

それは、『情けは人のためならず』という言葉です。

『情け』は、他人を思いやる気持ちと言ってもよいですし、他人に対する優しい気持ちと解釈しても構いません。では、『情けは人のためならず』とはどのような意味になるでしょうか？次のＡ・Ｂのどちらが正解かを考えてください。

Ａ：他人に情けをかけることは、その人のためにならないから、情けをかけるのはよくない。

Ｂ：他人に情けをかけることは、結果的にその人のためだけでなく、自分に戻ってくる。

Ａでしょうか？Ｂでしょうか？・・・・・・・

答えは、　　Ｂ　　です。

困っている人がいて、手助けを必要とする人が目の前にいたとき、私たちは、何かししないといけないと思って、思いやりのある行動（情けをかける行動）をとるでしょう。そのような情けのある行動をとると、それはその人のためにはならないという意味ではなく、その『情け』（優しさや思いやり）は、必ず自分に戻ってくるという意味です。つまり、『他人ために』ととった行動は、最終的に自分への『情け』（優しさや思いやり）として戻ってくるという意味なのです。もちろん、自分自身に戻ってくるから情けをかけよう（優しくしよう）というのではなく、他人のために親身になったその気持ちは、最終的に自分にもどるということを意味しています。今後の生活の参考にしてほしいと思います。

今、私たちは、４月からの生活に向けて、『０学期』として生活しています。もちろん、必ず他人と関わりを持ちながら生活をしています。その関わり方において、この言葉は大きな指針となるでしょう。学級や学年、あるいは部活動などいろん

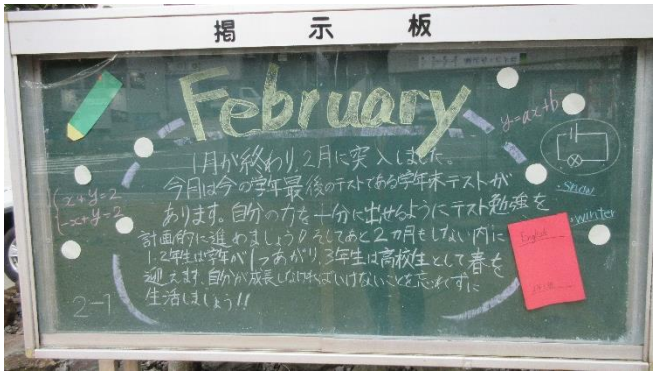
な集団に属して生活をしています。自分の行動が他人に対して与える影響を考え、常に、優しさや思いやりの気持ちに裏付けられた行動であれば、自分自身が困ったときに、その優しさや思いやりが戻ってくると思います。他人の幸せにつながる行動は、自分自身の幸せにつながると考えて生活すれば、私たちは、もっと幸せになるのかもしれません。そして、あとひとつ・・・・

『優しさや思いやりは、渡すものでなく、つないでいくもの。つながっていくもの。』

少し前、自宅でゴロゴロしながら、スマホを触っていました。その時、フェイスブックの中で、『優しさや思いやりは、渡すものでなく、つないでいくもの。つながっていくもの。』という言葉と動画が出てきました。私は、心に響く言葉や名言をよく見るのですが、その中で出てきた言葉です。

『優しさ』や『思いやり』は、つないでいくからこそ私たちの幸せになるという意味だと感じました。具体的な動画を示すことができないので伝えにくいですが、自分が目にした『思いやり』は、自分が実際に実践することで多くの人が幸せになるし、自分も成長できると私はとらえました。

４月からの新しいステージに向けて、そして、幸せを掴むことに向けて、一つのキーワードとして紹介します。どのような社会でも、私たちは、他人との関わりを持ちながら生きていくのですから・・・・・・

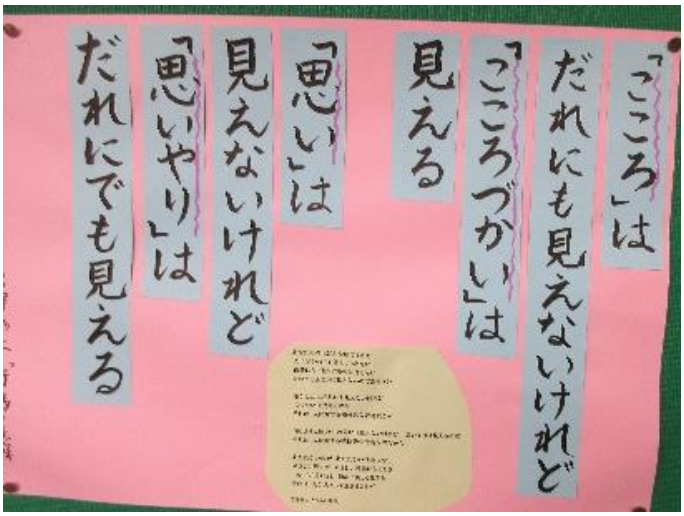


２月も間もなく終わります・・・・・

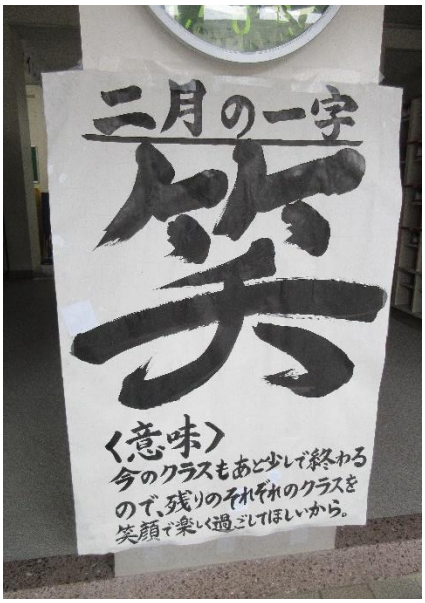
『こころ』は見えないけど、『こころづかい』は見える。『思い』は見えないけれど『思いやり』は誰にでも見える。

||

校内の掲示物から



校内に掲示してある掲示物です。これもまた、私たちの社会生活の中で、皆が幸せになるための指針です。**『こころ』は見えないけど、『こころづかい』は見える。『思い』は見えないけれど『思いやり』は誰にでも見える。**だれにでもみえる『思いやり』は、いかなる社会においても共通する重要なものだと感じながら、いつもその掲示物の前を私は通ります。果たして、自分は、『心づかい』や『思いやり』があるのだろうか・・・・・と自問自答しながら通ります・・・・・・・。



生徒会役員がつくった、今月の一字です。笑って、楽しく、そして笑顔の学校生活を期待する気持ちにあふれています。達成度はいかがでしょうか？